

ひとり暮らし高齢者の 買い物支援策を

佐藤議員 岩手県西和賀町の社会福祉協議会では、ひとり暮らしの高齢者が買い物に困っているため、宅配業者と連携して、「まごころ宅急便」を開始したとのテレビ報道があったので視察をしてきた。その話によると、日本全国どこでもできるものだった。本市の宅配サービスの現状を伺いたい。

市長 本市のひとり暮らし高齢者の買い物支援は、シルバー人材センターに委託して「軽度生活支援事業」を行っている。これは、シルバー人材センター会員が、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、介護認定に該当せず日常生活の援助が必要な方に対して、食料等の買い物や調理、掃除や草取りなどの家事支援を行うものである。利用は週二回、一回当たり二時間まで、料金は一時間当たり百円で、受付は福祉課で行っている。

また、シルバー人材センターの独自の事業として、一般家庭に対しての同様な家事援助も行っている。このほか、高齢者向けにJAはが野では、買い物の代行を行っており、一部のコンビニエンスストアでは、個人宅への弁当等の配達を行っている。今後も、このような制度の周知を図り、高齢者の生活支援に努めたい。

ロタウイルスワクチン 予防接種の公費助成を

佐藤議員 ロタウイルスによる乳幼児の下痢や嘔吐等が多く発生し

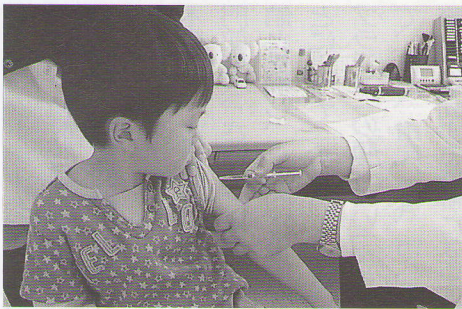
ているため、その予防策として今年七月に厚労省がワクチンを認可したことにより、県内でも公費負担の動きがある。予防接種には一万四千元から二万五千円の費用がかかるが、子育て支援、家庭の負担軽減のため公費負担をすべしと思うがどうか。

市長 ロタウイルスによる感染症は嘔吐や下痢が一週間程度続き、発熱を伴う特徴があり、日本では毎年百二十万人が発症し、約八万人が入院している。誰もが感染するウイルスではあるが、初回感染時に重症化しやすいとされており、乳児期の予防が必要であり、生後六週間から二十四週の間に二回接種を行うものである。日本では、

ロタウイルスワクチンが今年七月

に承認され、十一月から供給が開始されている。

しかしながら、現時点では予防接種法に定める定期接種には該当せず、任意接種とされている。また、供給が開始されたばかりのワクチンであり、接種後の副反応の臨床例も少ないことから、市として現時点では、単独で公費負担を実施する予定はないが、今後の国の予防接種法上の取扱いなどを十分見守っていきたい。



予防接種を受ける児童